

要覧

イチゴ「紅い雫」



水稻「ひめの凜」



デルフィニウム「さくらひめ」



柑橘「愛媛果試第48号」



愛媛あかね和牛



完全養殖「マサバ」



エリートツリー

(特に優れた形質を持つ樹)

愛媛県農林水産研究所

Ehime Research Institute of Agriculture, Forestry and Fisheries

2025.4

沿革

明治	33年	4月	愛媛県立農事試験場として温泉郡余土村(現松山市余戸)に創設
同	45年	1月	温泉郡道後村(現松山市道後)に移転
大正	11年	4月	果樹試験地を温泉郡桑原村(現松山市東野)に設置
昭和	9年	4月	高冷地試験地を上浮穴郡久万町(現久万高原町)に設置
同	18年	4月	高冷地試験地を久万分場と改称
同	21年	4月	東予分場を越智郡清水村(現今治市)に設置
同	23年	4月	県立果樹試験場創設にともない果樹関係の試験地を分離
同	29年	12月	愛媛県立農事試験場を愛媛県農業試験場と改称
同	45年	3月	農業試験場本館落成(松山市南町)
同	48年	4月	東予・久万分場を廃止し、それぞれ試験地とした
同	57年	3月	北条市(現松山市)上難波庄地区に試験場用地取得、移転開始
平成	3年	12月	北条市(現松山市)に本館落成、移転完了、松山市南町本場は廃止となる
同	4年	4月	研究体制は、スタッフ制を廃止、2課4室によるライン制とした
同	7年	4月	蚕業試験場を農業試験場に統合し、蚕業支場と改称
同	10年	3月	蚕業支場を廃止
同	12年	4月	中山間農業室を新設
同	17年	4月	普及情報室を新設
同	20年	4月	農業試験場、病害虫防除所、花き総合指導センター、果樹試験場(みかん研究所)、畜産試験場、養鶏試験場、林業技術センター、水産試験場、中予水産試験場及び魚病指導センターを組織統合し、農林水産研究所となる。中山間農業室は中予地方局産業経済部産業振興課に移管
同	22年	4月	品質安全室と環境保全室を統合し、環境安全室となる(2部1課7室)
同	23年	3月	普及情報室を廃止(2部1課6室)
同	24年	3月	東予試験地を廃止
同	27年	4月	企画調整室を企画・新品種戦略室に改称
令和	2年	4月	企画環境部を企画戦略部に改称するとともに、企画・新品種戦略室を研究企画室に改称、環境安全室を廃止し次世代農業戦略室を設置。農業研究部は病理昆虫室、作物育種栽培室、野菜育種栽培室、花き研究指導室に再編

土地

	試験圃場等	宅地・その他	合計
本所	14.9	9.8	24.7
(花き研究指導室)	0.4	2.0	2.4
果樹研究センター	10.0	11.7	21.7
(みかん研究所)	4.2	0.2	4.4
畜産研究センター	27.1	2.2	29.3
(養鶏研究所)	0.0	7.5	7.5
林業研究センター	17.8	6.1	23.9
水産研究センター	0.6	2.4	3.0
(栽培資源研究所)	0.7	2.3	3.0
合 計	75.7	44.2	119.9

農林水産研究所の設置(平成20年4月1日)

多様化・高度化する地域の技術的課題に速やかに対応し、本県農林水産業の活性化を図るため、従来の農林水産関係試験研究機関(8場所:農業試験場、花き総合指導センター、果樹試験場、畜産試験場、養鶏試験場、林業技術センター、水産試験場、中予水産試験場)と1機関(魚病指導センター)を農業・果樹・畜産・林業・水産の5部門に再編・統合しました。

愛媛県農林水産試験研究推進計画(令和4～8年度)

研究領域1 高品質・安定生産技術の研究開発

国内市場の規模縮小に伴う産地間競争の激化が予想される中、更なる高品質化に加え、持続的な安定生産のための一層の生産技術の向上。ブランド価値を創造する新品種の育成・開発を進めるとともに、これらブランド品目の優良種苗を安定供給するための技術開発。

- (1) 生産力の強化
- (2) ブランド品種の創出による需要拡大
- (3) 農林水産物の安全・安心の確保

研究領域2 次世代の産地を創造する研究開発

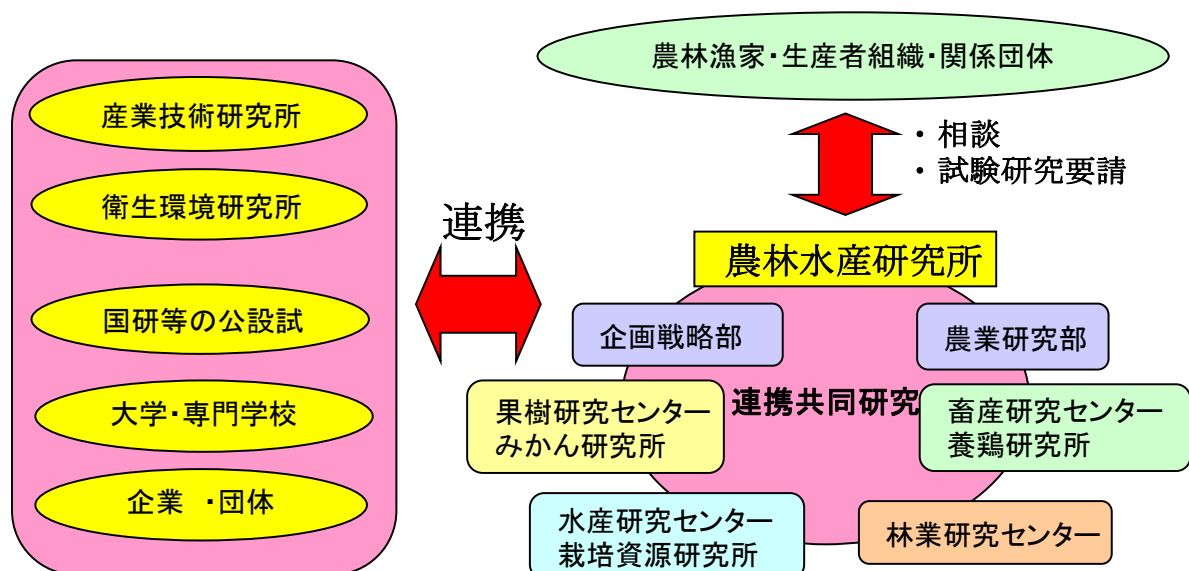
担い手の生産拡大や次世代に受け継がれる産地づくりを推進するためのDXへの取組み、ロボット技術・AI等先端技術や5G次世代通信を活用したスマート農林水産技術の研究開発。環境に配慮した持続可能な農林水産業の実現に向けた技術開発のほか、地域資源や未利用資源の利用技術開発、遺伝資源の収集・管理。

- (1) 飛躍的な生産性向上に向けたスマート農林水産技術の開発
- (2) 環境に配慮した生産技術の開発と地域資源の確保
- (3) 地域・未利用資源の活用技術の開発

研究領域3 気候変動に対応した研究開発

地球温暖化に起因する異常気象や病虫害の発生、野生鳥獣による農作物等への被害の拡大など、これらの生産環境の変化に対応する農林水産物の高品質安定生産技術の開発や被害防止技術の開発。

- (1) 地球温暖化等の環境変化に対応する技術の開発
- (2) 新たな脅威となる病虫害や疾病・鳥獣害防止対策技術開発



愛媛県農林水産研究所**総務課**

- ・文書の管理、職員の人事・給与に関すること、会計事務、財産の維持管理

企画戦略部

- ・研究企画室
- ・次世代農業戦略室

- ・共同研究および研究所の総合企画調整
- ・農林水産関係試験研究成果情報の公開
- ・研究員の育成、知的財産等の管理
- ・スマート農業等の次世代技術の早期実用化に向けた試験研究・調査
- ・農業経営の改善に関する試験研究・調査
- ・農産物の安全性と品質確保、高度な土壌、肥料分析による試験研究・調査
- ・依頼による土壌及び肥料の分析

農業研究部

- ・病理昆虫室
- ・作物育種栽培室
- ・野菜育種栽培室
- ・花き研究指導室

- ・普通作物等(水稻・麦・野菜・花き)の新品種育成、品種選定
- ・普通作物等の栽培改善に関する試験研究・調査
- ・普通作物等の病害虫に関する試験研究・調査
- ・花に関する総合的な指導・試験研究・調査

果樹研究センター

- ・総務室
- ・栽培開発室
- ・病理昆虫室

- ・果樹の品種改良・高度育種
- ・果樹の栽培改善に関する試験研究・調査
- ・果樹の施設栽培及び品種適応性に関する試験研究・調査
- ・果樹の土壌、肥料及び環境保全に関する試験研究・調査
- ・果樹の病害虫に関する試験研究・調査

みかん研究所

- ・育種栽培室

- ・かんきつの品種改良、栽培改善及び果実管理に関する試験研究・調査

畜産研究センター

- ・総務室
- ・生産技術室
- ・研究開発室

- ・家畜の飼養管理、育種、繁殖、防疫、衛生及び治療に関する試験研究・調査
- ・畜産の環境保全に関する試験研究・調査
- ・草地、飼料及び飼料作物の試験研究・調査
- ・乳用牛、肉用牛及び豚の能力検定
- ・畜産経営の改善に関する試験研究・調査

養鶏研究所

- ・家禽研究室

- ・鶏の育種、飼養管理、繁殖、防疫、衛生、治療及び環境保全に関する試験研究・調査
- ・飼料及び飼料作物の試験研究・調査
- ・鶏の能力検定

林業研究センター

- ・総務室
- ・人材育成室
- ・研究指導室
- ・連携推進室

- ・林木の遺伝・育種、森林管理、木質資源加工利用に関する試験研究
- ・森林・林業に関する研究成果の普及
- ・大学との連携推進、林業後継者の育成・活動支援
- ・林業技術、森林及び緑化に関する研修

水産研究センター

- ・総務室
- ・研究企画室
- ・環境資源室
- ・養殖推進室
- ・魚類検査室

- ・水産資源及び漁場環境の調査研究
- ・水産動植物の増殖及び養殖に関する試験研究・調査
- ・水産動植物の病害に関する調査研究
- ・養殖水産動物に関する疾病の予防・診断・治療指導等
- ・水産業に関する普及指導及び漁業後継者の育成・活動指導

栽培資源研究所

- ・浅海調査室
- ・増殖技術室

- ・藻場・干潟、栽培漁業、資源管理技術に関する試験研究・調査

農林水産研究所本所の概要



1. 用地

本所(花き研究指導室除く)		花き研究指導室	
水田	13.4	農地	0.37
畑	1.5		
その他	2.4		
宅地	7.4	宅地	2.04
計	24.7	計	2.41

2. 建物

(m²)

本所	棟	面積	花き研究指導室	棟	面積
農林水産研究所本館 (RC 4階建て)	1	5,566.7	花き研究指導室本館 (RC 2階建て)	1	述べ 930.7
付属施設 (実験棟、作業舎ほか)	16	5,305.0 (車庫等除く)	付属施設 (屋内実験棟)	1	416.0 (一部 中2階)
研究施設 (試験温室、網室ほか)	35	5,045.2	研究施設 (温室、堆肥舎)	10	1,845.0

3. 令和7年度職員数

(人)

	研究職員	行政職員		現業職員	再任用職員	特定業務職員等	合計
		技術職	事務職				
本所(花き研究指導室除く)	21	15	3	6	5	17	67
花き研究指導室	4	1	0	2	0	8	15
本所計	25	16	3	8	5	25	82

総務課

1. 文書の管理
2. 職員の人事、給与、服務
3. 予算、決算その他の会計事務
4. 土地、建物、工作物、機械等の維持管理
5. 生産物の処理
6. 臨時労務の管理

企画戦略部

研究企画室

1. 研究所全体の総合企画戦略の調整
2. 各試験研究機関との共同研究の推進
3. 行政・普及・大学・企業団体との連絡・調整
4. 農林水産関係試験研究成果情報の公開
5. 研究員の育成
6. 知的財産等の管理



若手研究員による研究課題プレゼン



Webによる研究成果の発表

次世代農業戦略室

1. スマート農業・農業DXに関する試験研究・調査
2. みどりの食料システム戦略に関する試験研究
3. 県内の出荷前農産物の残留農薬分析
4. 農産物の品質に関する技術開発
5. 土壌及び肥料の分析



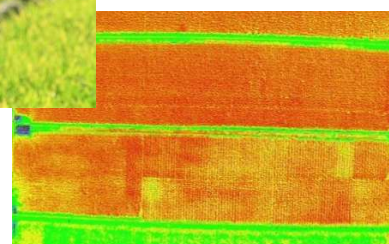
慣行の育苗箱・田植機を用いた
有機水稻の中苗移植



ドローンの活用



AIによる病虫害の判定



NDVIによる生育把握



農産物の品質に関する技術開発



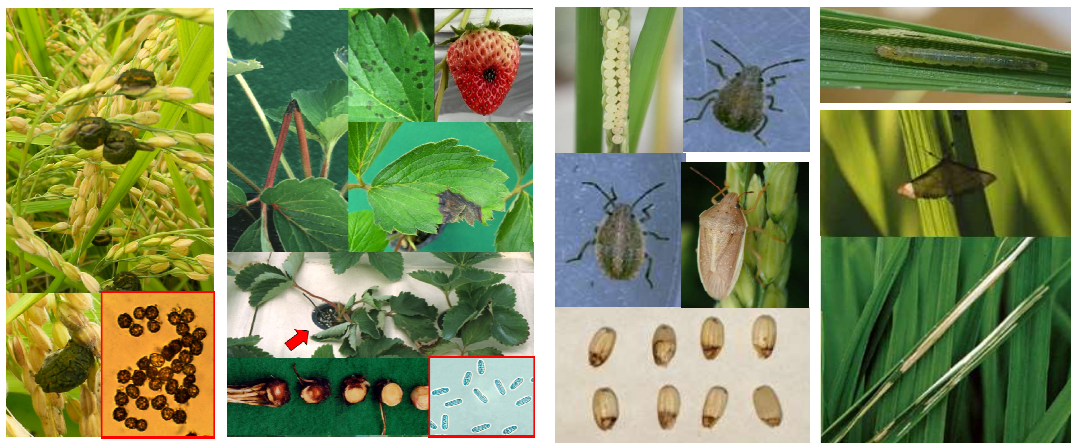
土壌・肥料や残留農薬の分析



農業研究部

病理昆虫室

1. 米の品質低下をもたらす病害虫総合防除対策の確立
(イネ稻こうじ病、イネカメムシ)
2. サトイモ乾腐病、軟腐病、センチュウ等の土壌病害虫対策の確立
3. 農作物で使用する薬剤の感受性と実用性の判定 (コブノメイガ等)
4. 病害虫に係る現場要請課題への対応 (イチゴ炭疽病、萎黄病等)
5. 農作物病害虫の発生調査及び発生予察



イネ稻こうじ病とイチゴ炭疽病の被害と病原菌
左：イネ稻こうじ病、右：イチゴ炭疽病
(いずれも右下は、本病原菌の胞子の形状)

イネカメムシとコブノメイガ
左：イネカメムシ卵、幼虫、成虫、斑点米被害
右：コブノメイガ幼虫、成虫、葉の被害

作物育種栽培室

1. 水稻新品種‘ひめの凜’の良食味安定栽培技術の確立
2. 水稻の高品質・良食味新品種の育成
3. 水稻及び麦の原原種及び原種の生産
4. はだか麦・小麦の高品質・多収生産技術の確立
5. 水稻・麦・大豆の新品種等の現地適応性試験
6. 水稻・麦・大豆の土壌改良や肥料試験



水稻良食味新品種‘ひめの凜’
左：成熟期の様子
右上：ロゴマーク
右下：‘ひめの凜’の精米

稲麦原種の一貫調製装置
(粒厚選、比重選、色選)

新規導入小麦の栽培試験
左から‘シロガネコムギ’‘さとのそら’‘チクゴイズミ’

野菜
栽培種
育成室

1. サトイモの新品種育成・栽培技術開発
2. 野菜の低コストIoT環境モニタリング制御栽培技術の開発
3. イチゴの新品種育成
4. 薬用作物の生産技術開発



サトイモ「愛媛農試V2号」



IoT機器によるモニタリング
(機器・アプリ画面)



サトイモ大規模省力生産技術(乗用管理機・ドローン防除)



イチゴ新品種「紅い雫」

花き
指導室

1. 花き類の有望系統の選抜と新品種の育成
2. 花きに関する試験研究及び調査
3. 花きに関する総合的な指導
4. 花きの生産、流通及び経営等に関する研修
5. 花きに関する情報提供
6. 花きに関するイベントの開催 ・ふれあいの場の提供



デルフィニウム新品種「さくらひめ」



優良枝物の安定生産技術開発

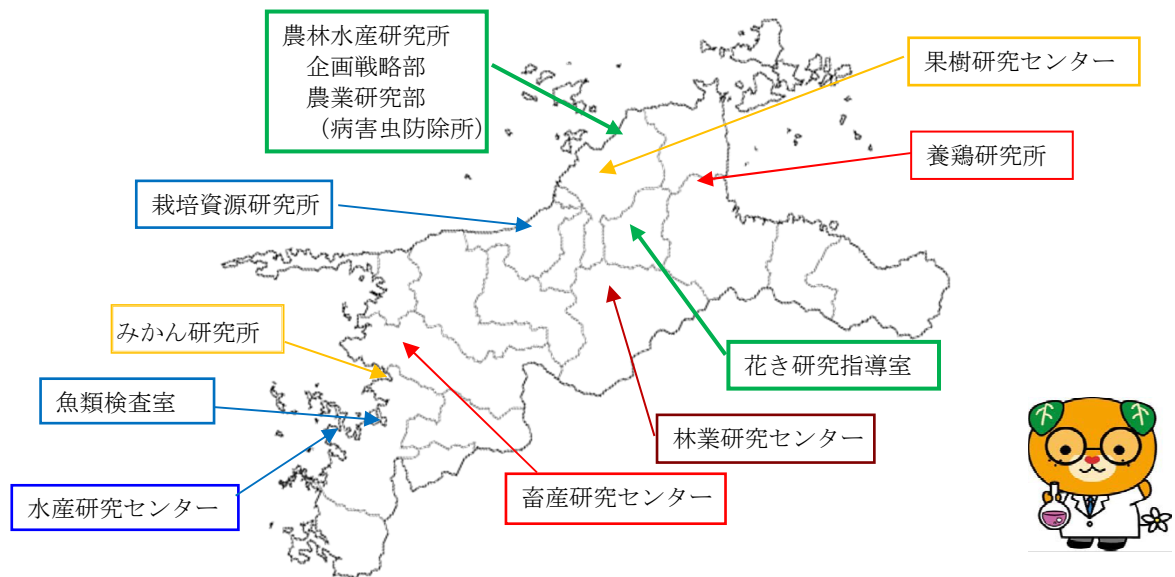


低コスト環境モニタリング・制御システムの開発



趣味園芸教室の開催

愛媛県農林水産研究所 研究センター等の所在地



企画戦略部・農業研究部(病虫害防除所)

〒799-2405

松山市上難波甲311 TEL(089)993-2020
FAX(089)993-2569



農業研究部 花き研究指導室

〒791-0222

東温市下林甲2210-1
TEL(089)964-5867
FAX(089)964-5396



果樹研究センター

〒791-0112

松山市下伊台町1618
TEL(089)977-2100
FAX(089)977-2451



果樹研究センター みかん研究所

〒799-3742

宇和島市吉田町
法花津7番耕地115
TEL(0895)52-1004
FAX(0895)52-1032



畜産研究センター

〒797-1211

西予市野村町阿下
7-156
TEL(0894)72-0064
FAX(0894)72-0065



畜産研究センター 養鶏研究所

〒799-1316

西条市福成寺乙159
TEL(0898)66-5004
FAX(0898)66-5093



林業研究センター

〒791-1205

上浮穴郡久万高原町
菅生2番耕地280-38
TEL(0892)21-2266
FAX(0892)21-3068



水産研究センター

〒798-0104

宇和島市下波5516
TEL(0895)29-0236
FAX(0895)29-0230



水産研究センター 魚類検査室

〒798-0087

宇和島市坂下津
外馬越甲309-4
TEL(0895)25-7260
FAX(0895)24-3029



水産研究センター 栽培資源研究所

〒799-3125

伊予市森甲121-3
TEL(089)983-5378
FAX(089)983-5570

